

関係者各位

2018年3月1日

“働きたくても、働けない”若者を支援するNPOへ最高200万円

「中央ろうきん若者応援ファンド2018」選考結果 10団体へ総額1,417万円を助成します

2018年3月22日(木)に都内で贈呈式を開催

中央労働金庫(東京都千代田区、理事長 松迫卓男、以下<中央ろうきん>という)は、若者の就労支援に特化した助成制度『中央ろうきん若者応援ファンド2018』の公募選考の結果、<中央ろうきん>の営業エリア1都7県で活動する10団体へ、総額1,417万円の助成を決定いたしましたので、お知らせいたします。

<中央ろうきん>は、家庭環境や経済状況、病気や障害などの諸事情を抱えた若者の自立就労を支えることで、若者が、どのような困難な事情を抱えていても、社会の一員として暮らし、働き、より良い人間関係を築ける社会を実現することを目指しています。

このたび、外部有識者6名から構成する「選考委員会」による選考の結果、若者応援に取り組むNPO等の非営利団体10団体へ、総額1,417万円の助成を決定しました。助成が決定した団体は、2018年4月から1年間、若者の就労を後押しする新たなプログラムづくりや支援プログラムの拡充、スタッフの育成などに取り組みます。

<若者応援ファンド2018 助成団体一覧>

* 敬称略

No.	団体名	代表者名 〔所在地〕	活動名	助成額 (万円)
1	認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会 シオン	水野 洋 〔茨城県〕	ステップハウス —あと一步の支援で変わる子ども達	50
2	特定非営利活動法人 アフタースクール	桑野 秀男 〔千葉県〕	働けない若者が「放課後児童支援員」資格をとって子育て支援 <2>	100
3	特定非営利活動法人 WELgee	渡部 清花 〔東京都〕	日本に希望を求めてやってきた難民の若者たちが、自分の特技を発揮し安定して働くための仕組み作り	200
4	特定非営利活動法人 介護者サポートネットワーク センター・アラジン	牧野 史子 〔東京都〕	介護とキャリアの相談拠点 —単身若者の介護者の就労支援の拠点づくり	200
5	一般社団法人 慈有塾	高木 実有 〔東京都〕	学歴がない若者への無料学習支援と慈有塾卒業後の就労支援事業	150
6	特定非営利活動法人 若者の自立支援すみれブーケ	内田 朝代 〔東京都〕	児童養護施設・里親を巣立った若者の再出発と自立を支える場としてのシェアハウス運営と精神的専門スタッフ体制づくり	100
7	特定非営利活動法人 PIECES	小澤いぶき 〔東京都〕	コミュニティユースワーカー事業	197
8	認定特定非営利活動法人 みらいの森	ダニエル・コックス 〔東京都〕	リーダー実習プログラム —Leader in Training (LIT) 2018	200
9	特定非営利活動法人 ユースコミュニティー	濱住 邦彦 〔東京都〕	社会で躓いた若者が、子どもの支援者になることで、社会へのつながりと意義を見出す仕組みづくり	120
10	特定非営利活動法人 フェアスタートサポート	永岡鉄平 〔神奈川県〕	18歳での就職自立を目指す若者への就労支援エリア拡大事業	100

<贈呈式の開催について>

2018年3月22日(木)、<中央ろうきん>本店にて「贈呈式」を開催します。贈呈式では、助成が決定した団体と<中央ろうきん>とのパートナーシップ構築を図るほか、選考委員長の湯浅誠氏(社会活動家・法政大学教授)より選後評をいただく予定です。

*【報道ご関係者様】贈呈式の取材を希望される方は、<中央ろうきん>までお問い合わせください。

○日時	: 2018年3月22日(木) 14時~17時(予定) ※交流会含む
○会場	: 中央労働金庫 本店ビル8階会議室(千代田区神田駿河台2-5)
○参加者	: 助成団体、選考委員長 湯浅誠氏、中央労働金庫 理事長 松迫卓男 他
○内容	: 記念品贈呈、助成団体活動紹介、選考委員長選後評、交流会
○目的	: <中央ろうきん>は、協同組織の福祉金融機関として、労組・生協・NPOなど非営利組織との連携により、働く人を取り巻く地域課題の解決に取り組んでいます。本会合は、助成団体決定のお祝いとともに、助成団体と<中央ろうきん>のパートナーシップを築くことを目的に開催します。

中央ろうきん若者応援ファンド2018 実施概要

■制度の概要

名称	中央ろうきん若者応援ファンド2018
実施運営	中央ろうきん社会貢献基金
趣旨	本ファンドは、<中央ろうきん>の営業エリア1都7県で、若者(15歳~39歳)の自立就労支援に取り組む市民活動を応援するため、1団体あたり200万円を上限に助成金を支給するものです。 具体的には、「A:若者応援の出口をつくる、出口につなげるプログラム」および「B:若者と社会をつなぐ支援者(スタッフ・ボランティア)を育てるプログラム」の二つのテーマについて、多様な人・組織が活動の分野や領域を越えて連携し、若者応援の仕組みやプログラムをスケールアップ・スケールアウトする活動(次項「対象となる事業」参照)を対象としています。
助成総額	1,417万円
助成金額	1団体50万円以上200万円以内
募集方法	公募方式(募集期間:2017年10月2日~10月27日)
助成期間	2018年4月1日~翌年3月31日の1年間

■選考について

外部有識者6名による「選考委員会」にて、書類選考およびプレゼンテーション選考を行いました。

<選考委員会>

- 選考委員長 湯浅 誠 氏(社会活動家、法政大学教授)
- 選考委員 雨宮 処凛 氏(作家)
- 選考委員 岡本 拓也 氏(ソーシャルマネジメント合同会社 代表・共同創業者)
- 選考委員 黒河 悟 氏(労働者福祉中央協議会 副会長)
- 選考委員 宮本みち子 氏(放送大学 副学長)
- 選考委員 横田 能洋 氏(認定特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事)



【本件に関するお問い合わせ】

中央労働金庫 総合企画部<CSR企画>(兼 中央ろうきん社会貢献基金事務局)
担当:高瀬・岩村 TEL:03-3293-2048 E-mail:npo@chuo-rokin.or.jp
<http://chuo.rokin.com/about/csr/assistance/>

以上

<参考> 中央ろうきん若者応援ファンドについて（募集要項 抜粋）

社会的不利・困難を抱える若者の“はたらく”を応援する助成制度

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。「勤労者の生活を守り向上させる」という使命のもと、働く人を取り巻く社会的課題の解決に寄与し、人々が喜びを持って共生できる社会の実現に寄与することを目的としています。

「中央ろうきん若者応援ファンド」は、家庭環境や経済状況、病気や障害などの諸事情による社会的不利・困難を抱え、不安定な就労や無業の状態にある若者の自立支援をサポートする市民活動助成制度です（2014年10月創設）。



対象となる事業（テーマ・活動）

(1) テーマ	<p>【A】若者応援の出口をつくる、出口につなげるプログラム [生活保障、生活支援、就労支援、中間的就労、雇用創出など]</p> <p>【B】若者と社会をつなぐ支援者(スタッフ・ボランティア)を育てるプログラム [人材育成、スキルアップ、支援者拡大など]</p>
(2) 活動	<p>多様な人・組織が活動の分野や領域を越えて連携し、若者応援の仕組みやプログラムをスケールアップ・スケールアウトする活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新規プログラムの立上げ [今回初めて取り組む活動] ○ 既存事業のスケールアップ [自団体の活動の質の向上や、量・エリアの拡大を目指す活動] ○ 既存事業のスケールアウト [ノウハウの移転やモデル展開を図る活動]

対象となる団体

- (1) 営利を目的としない民間団体（NPO法人、任意団体など）であること。
- (2) 1都7県（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨）を主たる活動の場としていること。
- (3) 団体として、代表者責任が明確であり、会計処理が適切に行われていること。
- (4) 反社会的勢力でないこと。

募集期間

2017年10月2日（月）～ 10月27日（金）<必着>

助成内容

- (1) 助成対象期間
2018年4月1日から翌年3月31日までの1年間
 - (2) 助成総額
概ね1,500万円
 - (3) 助成金額
1団体あたり50万円～200万円
- ※1 過去に本ファンドの助成を受けた団体の応募上限額は、100万円となります。
 ※2 選考の結果、助成決定金額が応募金額を下回る場合があります。